JAIST Repository
https://dspace.jaist.ac.jp/

| | |
|---|---|
| Title | はじめに，沿革，組織図，構成員，各センターの業務内容 |
| Author(s) | |
| Citation | 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学技術サービス部業務報告集 ： 平成22年度: 1-4 |
| Issue Date | 2011-08 |
| Type | 0thers |
| Text version | publisher |
| URL | http://hdl.handle.net/10119/10023 |
| Rights | |
| Description | |

JAIST
JAPAN
ADVANCED INSTITUTE OF
SCIENCE AND TECHNOLOGY

Japan Advanced Institute of Science and Technology

# はじめに

本学は、理工系大学院生への高度な教育を支える先端的な研究を可能とする質・量ともに極めて充実した設備投資がなされている大学です。これらのインフラの上に効率的な教育・研究を遂行することが最近ますます求められていますが、その意味でもそれを実務的に補佐する技術職員集団の果たす役割はますます大きくなっています。

本学では、１）技術職員及びその所属するセンター等が果たす様々な技術サービス業務の内容と意義を周知し、教員・学生との意思疎通をより深めるために、また、２）学内教職員に留まらず技術サービス業務に関心をお持ちの学外・地域の方々に、できる限り本学の技術サービス部の中身を知っていただくことを目的に、毎年業務報告集を刊行しています。

本報告集は、「情報系・マテリアル系技術職員業務報告会」（平成 23 年 7 月 28 日開催）における業務報告を含む技術職員全員からの（年間）業務報告、出張報告等から構成され、本学の技術職員が、教育・研究支援に携わる日常活動な中で得た成果等をまとめたものです。

一昨年度に続きまだ 3 号目で、業務内容の取りまとめ方やデータ開示等に関し行き届かない点も多々あるかと思いますので、本号の内容に関し是非忌憚のないご意見・ご指導などを頂戴できれば幸いです。今後の業務遂行に当たりできる限り反映させていきたいと考えています。

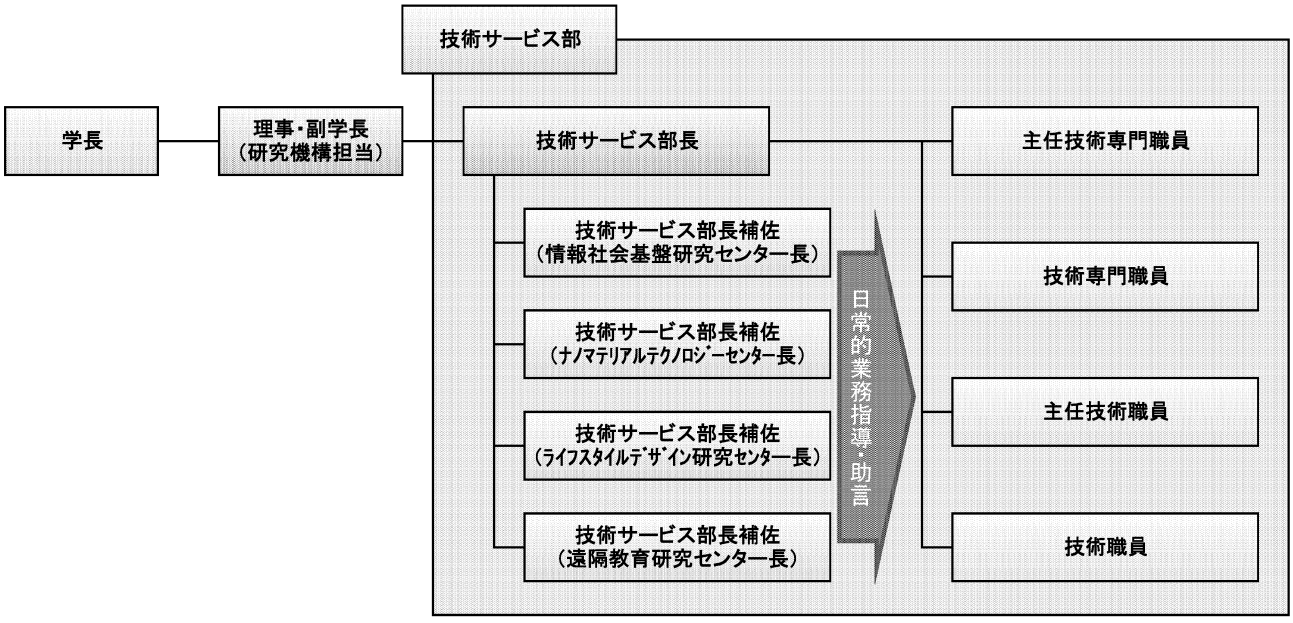
また、技術サービス部長、各センター長、並びに技術職員一同、今後も技術サービス業務の活性化に向け様々な施策・計画・提案を考えています。本学技術サービス部に関心をお持ちのすべての方々に、今後とも継続的なご支援を宜しくお願い申し上げる次第です。

技術サービス部長　山田省二

## １ 沿革

| | |
|---|---|
| **平成　２年１０月** | **北陸先端科学技術大学院大学　開学**<br>情報科学研究科　設置 |
| 平成　３年 | 材料科学研究科、情報科学センター　設置 |
| 平成　４年 | 新素材センター　設置 |
| **平成　７年　４月** | **研究協力部研究協力課 研究企画係　技術室 発足** |
| 平成　８年 | 知識科学研究科　設置 |
| 平成１０年 | 知識科学教育研究センター　設置 |
| 平成１３年 | 遠隔教育研究センター　設置 |
| 平成１４年 | ナノマテリアルテクノロジーセンター　設置<br>（新素材センターを改組） |
| **平成１７年　４月** | **技術室　設置**<br>**（技術室長による運営開始。事務局から独立。）** |
| **７月** | **技術サービス部と改称　現在に至る** |
| 平成１８年 | マテリアルサイエンス研究科　設置<br>（材料科学研究科を名称変更） |
| 平成２３年 | 情報社会基盤研究センター　設置<br>（情報科学センターを改組）<br>ライフスタイルデザイン研究センター　設置<br>（知識科学教育研究センターを改組） |

## ２ 組織図（平成 23 年 8 月現在）



## ３ 構成員（平成 23 年 8 月現在）

| | | |
|---|---|---|
| 部長 | | 山田　省二 |
| 部長補佐（４名） | 情報社会基盤研究センター長 | 落水　浩一郎 |
| | ﾅﾉﾏﾃﾘｱﾙﾃｸﾉﾛｼﾞｰｾﾝﾀｰ長 | 山田　省二 |
| | ﾗｲﾌｽﾀｲﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ研究ｾﾝﾀｰ長 | 西本　一志 |
| | 遠隔教育研究センター長 | 安藤　敏也 |
| 情報社会基盤研究センター（９名） | 主任技術専門職員 | 木戸　孝一 |
| | 技術専門職員 | 中野　裕晶 |
| | 技術専門職員 | 小坂　秀一 |
| | 技術専門職員 | 上埜　元嗣 |
| | 主任技術職員 | 岡本　忠男 |
| | 主任技術職員 | 間藤　真人 |
| | 主任技術職員 | 須藤　千恵 |
| | 技術職員 | 二ツ寺　政友 |
| | 技術職員 | 宮下　夏苗 |
| ナノマテリアルテクノロジーセンター（８名） | 技術専門職員 | 東嶺　孝一 |
| | 技術専門職員 | 能登屋　治 |
| | 主任技術職員 | 伊藤　暢晃 |
| | 主任技術職員 | 木村　一郎 |
| | 主任技術職員 | 宇野　宗則 |
| | 技術職員 | 宮里　朗夫 |
| | 技術職員 | 村上　達也 |
| | 技術職員 | 仲林　裕司 |
| ライフスタイルデザイン研究センター（１名） | 技術職員 | 福島　清信 |
| 遠隔教育研究センター（２名） | 主任技術職員 | 辻　誠樹 |
| | 技術職員 | 但馬　陽一 |

## 4 各センターの業務内容

| センター | 業務内容 |
|---|---|
| 情報社会基盤研究センター | 情報社会基盤研究センターは、先端科学技術分野に関するあらゆる教育・研究ニーズに対応するため、超高速ネットワークを利用した高性能で大規模なデータストレージサービスと超並列計算機群によるコンピュテーションサービスを提供し、インテリジェント・キャンパスの基盤となる、等質かつ高レベルな情報サービスを提供する、世界でも有数の大規模情報環境を構築・集中管理しています。 |
| ナノマテリアルテクノロジーセンター | ナノマテリアルテクノロジーセンターは、ナノメートル（100 万分の１ミリメートル）の世界で起こる現象の理解とナノサイズの計測、加工、デバイス技術、すなわちナノテクノロジーを推進するためのセンターです。マテリアルサイエンス研究科を中心とする学内組織と協力し、ナノテクノロジー分野における研究、教育を支援するとともに、この分野の研究の先導的役割を果たします。 |
| ライフスタイルデザイン研究センター | ライフスタイルデザイン研究センターは、人々が持つ潜在的な能力の発見と発揮を支援するシステムの研究開発を推進し、これを活用して誰もが積極的に社会貢献できる「生きがいのあるくらし」をデザインします。 |
| 遠隔教育研究センター | 遠隔教育研究センターは、遠隔教育を通じて本学の教育研究の多様化、高度化に取り組むことを目的に設置されました。遠隔教育に関する研究、企画、システムの開発・運用、実施・推進に関わる業務を所掌しており、特に遠隔教育の実施・推進については各研究科・センターを結ぶコーディネーターとしての役割を担っています。 |